

港湾管理用基準面 決定 報告書  
変更

御前崎港港湾管理用基準面は下記のとおり 決定 したので報告します。  
変更

国土交通省港湾局長 殿

令和7年2月3日現在

水 準 面 図		
御前崎港	大 潮 平 均 高 潮 面	※
	さ く 望 平 均 満 潮 面	1.72
	平 均 水 面 〔 自2018年 1月 1日 〕 〔 至2022年12月31日 〕	1.00
	東 京 湾 平 均 海 面	0.83
	大 潮 平 均 低 潮 面	※
	さ く 望 平 均 干 潮 面	0.03
	最低水面(港湾管理用基準面)	0.00
	験 潮 基 準 面	1.09

記事	最低水面の採用区分	平均水面から告示のZ <sub>0</sub> による方法
	既往最高潮面	+2.65 ※※ (令和元年10月12日)
	既往最低潮面	— ※※
	平均水面の採用区分	右験潮所観測(平成30年～令和4年)による平均水面

験 潮 所				
(1) 験 潮 所 名	御前崎検潮所			
(2) 所 在 地	静岡県御前崎市港6111-2			
	緯度	N- 34° 36′ 30″	経度	E- 138° 13′ 20″
(3) 管 理 者	静岡地方気象台		所有者名	静岡地方気象台
設 置 年 月 日	昭和45年 4月 (1970年)			
験潮開始年月日	昭和26年 8月 (1951年)			
自 記 験 潮 儀	(4)型式	電波式	(5)縮率	
験 潮 記 録	(6) 現 存 す る 記 録 の 期 間		昭和26年 8月～現在	
	保 存 箇 所 名		気象庁	
験 潮 井 戸	直 径		内径 1.2m	
	球分体の高さ 〔最低水面上〕		TP上 2.313m(2022年～)〔観測基準面上 (気象庁公表値、2023年基準面図に対応) 4.240m〕	
	井戸端から井戸底迄の実測深さ		4.85m	
導 水 管	直径	内径	0.1 m	長さ 2.4 m

基 本 水 準 標 (気象庁検潮所BM)		
所 在 地	静岡県御前崎市港	
標 高	最 低 水 面 上	3.06m
	東 京 湾 平 均 海 面 上	2.229m
備考	基準とする国土地理院一等水準点標石 番号140-1 標高+27.2761(令和6年10月9日調査)	
	基本水準標と上記水準点標石を水準測量した年月 令和3年11月(気象庁による)	

主 要 調 和 定 数 又 は Z <sub>0</sub>			
分 潮	半潮差の値※	Z <sub>0</sub> の値	記事
M <sub>2</sub>		1.00	Z <sub>0</sub> は海上保安庁告示(令和6年11月11日)による。
S <sub>2</sub>			
K <sub>1</sub>			
O <sub>1</sub>			

必要と思われる関係事項

※海上保安庁告示のZ<sub>0</sub>の根拠となる主要分潮の調和定数(振幅)は確認できないため、大潮平均高潮面、大潮平均低潮面は算出しない。  
※※気象庁公表値による。既往最低潮面の公表はないため割愛。

令和 6 年度

# 御前崎港基準面決定簿

基準検潮所   ：   御前崎検潮所（気象庁所管）

令和 7 年 4 月 1 日改定

静      岡      県

## 港湾管理用基準面の適用

### 港湾

- ・潮位は、実測値又は推算値をもとに、天文潮及び気象潮、波浪による水位の上昇並びに津波等による異常潮位を考慮して、統計的解析等により、港湾管理用基準面からの水位を適切に設定するものとする。
- ・港湾の施設の技術上の基準の細目を定める告示で、港湾管理用基準面は最低水面と同一の値とし、海図と港湾施設の整合が図られている。

(港湾の施設の技術上の基準・同解説 P108～109)

**港湾（国土交通省）：港湾管理用基準面(C. D. L.)＝最低水面（平均水面－Z<sub>0</sub>）**

### 平均水面、最高水面及び最低水面一覧表（海上保安庁 海洋情報部 以下「最低水面一覧表」）

- ・静岡県における港湾管理用基準面および漁港工事用基準面は、下表に示す最低水面に準拠することを原則とする。御前崎港については、平成 29 年に調査が行われ既定の最低水面との差が 0.10m 以上であったため最低水面の改訂が行われ、適用・運用されてきた。海上保安部では令和 5 年 11 月に最新の調査を実施し、これまでの最低水面との差が 0.10m 以上であったため令和 6 年度に最低水面の改訂が告示される運びとなった。静岡県では、海上保安部からの協議による最低水面の改訂に伴い、最低水面との整合を図るため港湾管理用基準面の改訂を行うものとした。基本水準標は、気象庁所管御前崎検潮所 B M を用い、港湾管理用基準面を設定する。Z<sub>0</sub> は下表記載の 1.00m を採用する。

地名 又は 港名	基 本 水 準 標 等 所 在	位 置		最 低 水 面							最 高 水面
		経度 (E)	緯度 (N)	採 調 年	最 調 年	近 査 月	基本水準 標等下 m	平 均 水面下 (Z <sub>0</sub> ) m	IP 下 m	橋 門 体 高 m	平 均 水面上 m
		経度 (E)	緯度 (N)	採 調 年	最 調 年	近 査 月	基本水準 標等下 m	平 均 水面下 (Z <sub>0</sub> ) m	IP 下 m	橋 門 体 高 m	平 均 水面上 m
江の島	湘南港防波堤角にあるHBM(金属標)頂	35-18	139-29	平08-03			2.07	0.92			0.92
大磯	物場堤にあるHBM(金属標)頂	35-18	139-19	昭57-06			2.30	0.95			0.95
小田原		35-14	139-9					0.95			0.95
真鶴		35-9	139-9					0.97			0.97
熱海	第一和田磯岸壁突堤基部にあるHBM(金属標)頂	35-5-21.9	139-4-38.4	平02-04	令01-11		3.12	0.94		39.15	0.94
網代	防波堤基部にあるHBM(金属標)頂	35-3	139-5	平02-02			3.73	0.92			0.92
	国土地理院BM(9329号)頂	35-3	139-4	平02-02			5.03	0.92	0.90		0.92
伊東	西防波堤基部にあるHBM(金属標)頂	34-58	139-6	平02-02	令01-12		4.65	0.98		39.09	0.98
川奈	防波堤基部にあるHBM(金属標)頂	34-57	139-8	平02-02			4.15	0.95			0.95
八幡野	防波堤基部にあるHBM(金属標)頂	34-52	139-6	平17-03			6.72	0.96			0.96
稲取	南防波堤にあるHBM(金属標)頂	34-46	139-3	平04-02	平30-02		2.30	0.99			0.99
下田	弁天島にある整備局BM頂	34-40-32	138-57-33	平16-02	平30-12		3.41	1.01		39.50	1.01
小稲[南伊豆]	国土地理院BM(9364号)頂	34-39	138-53	昭58-10			5.40	1.00			1.00
駿河湾											
妻良	第3防波堤基部にある県BM頂	34-40	138-47	平06-06			4.86	0.98			0.98
松崎		34-45	138-46					1.02			1.02
田子		34-48	138-46					1.00			1.00
宇久須	国土地理院BM(9381号)頂	34-51	138-46	平16-07			3.63	0.94	0.91		0.94
戸田	漁業組合前の防波堤にあるHBM(金属標)頂	34-59	138-47	平09-01			2.17	0.95			0.95
三津		35-1	138-54					1.00			1.00
沼津	東2号岸壁東方にある県BM頂	35-5	138-51	平19-03	平31-02		4.65	1.00		39.54	1.00
田子の浦	駿瀬所そばにあるHBM(金属標)頂	35-8	138-42	平10-03	平24-12		2.13	0.97			0.97
清水	気象庁駿瀬所BM頂	35 1	138 31	平29 02			2.67	0.95			0.95
	国土地理院BM(10168号)頂	35-0	138-31	平04-02			2.39	0.95	0.91		0.95
用宗	西防波堤基部にある漁港原点(金属標)頂	34-55	138-22	平17-09			7.02	0.95			0.95
焼津	小川橋南西基部にある県BM頂	34-51-2.8	138-19-25.5	平22-08	平28-10		2.54	0.95		39.23	0.95
大井川	物場堤にあるHBM(金属標)頂	34-47	138-18	昭54-06	平10-02		2.01	0.95			0.95
御前崎	気象庁駿瀬所BM頂	34-38-25	138-13-16	平29-01	令01-11		3.17	1.00			1.00
福田	漁業組合西方の魚介類供養碑西部にある県BM頂	34-40	137-54	平10-07			6.13	1.00			1.00
浜名											
舞阪	駿瀬所東方の気象庁BM頂	34-41	137-37	昭62-05			3.31	0.70			0.70
新居	向島物揚場第1にあるHBM(金属標)頂	34-42	137-35	昭62-07			2.84	0.60			0.60
港口	舞阪東端渡堤基部にある県BM頂	34-41	137-36	平09-08			5.65	1.05			1.05

令和 6 年 11 月 11 日公表(令和 6 年度改訂前)より抜粋

## 御前崎港の港湾管理用基準面(最低水面)

以下は、令和 5 年 11 月調査の海上保安部基準面決定簿を抜粋し、港湾管理用基準面への適用について加筆したものである。なお、抜粋部分は枠表示で表す。

港湾管理用基準面(最低水面)	
基本水準標：気象庁御前崎検潮所 BM 頂 下	3.06m
平均水面下 (Zo)	1.00m
観測基準面上	1.09m

### 1. 概要

- |   |
|---|
| (1) 平成14年海上保安庁告示第103号「平均水面、最高水面及び最低水面一覧表」に記載されている御前崎「気象庁検潮所BM頂（以下、気象BMという）下3.17m」の点検を実施した       |
| (2) 点検には御前崎検潮所（気象庁所管）の資料を使用し、最低水面の算出には最近5ヶ年の平均水面を使用した。  |
| (3) 御前崎検潮所（球分体及び錘測基点）と気象BMの直接水準測量により点検を行い、観測基準面に変動がないことを確認した。また、同時検潮を11月28日に行い、導通は良好であることを確認した。 |
| (4) Zoは、海上保安庁告示第103号「平均水面、最高水面及び最低水面一覧表」記載の1.00m（御前崎）を使用した。                                     |

#### (5) 御前崎港の港湾管理用基準面

以上の海上保安部調査結果により、御前崎港港湾管理用基準面は御前崎検潮所 BM 頂下 3.06m とする。

現行の御前崎港港湾管理用基準面は、平成 8 年 4 月に改定されて以来変更されていない。また現行の御前崎港港湾計画図に掲載されている潮位図も平均水面算出期間の表記がなく基準面の設定根拠が不明瞭である。よって現行基準面との差によらず今般の海上保安部最低水面変更に準拠して港湾管理用基準面を改訂する。

### 2. 使用検潮所：(資料-未整理)

基準面の決定にあたり使用した検潮所は以下のとおりである。

	検潮所名	所管	機種	観測期間	記事
基準検潮所	御前崎検潮所	気象庁	電波式	通年	常設

### 3. 御前崎検潮所の5か年平均水面：(資料-未整理)

御前崎検潮所観測基準面上潮位

年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	平均(A <sub>0</sub> )
年平均水面	2.045m	2.101m	2.099m	2.129m	2.104m	2.096m

### 4. 観測基準面上の最低水面

$$\begin{aligned}
 A_0 &: \text{基準験潮所の平均水面} && 2.096\text{m} \\
 \\ 
 IL &= A_0 - Z_0 \\
 &= 2.096 - 1.00 \\
 &= 1.096 \\
 &\text{以上により最低水面は観測基準面上}1.096\text{m}\text{となった。}
 \end{aligned}$$

### 5. 前項の結果から算出した気象庁 BM 高

$$\begin{aligned}
 \text{気象BM高} &= \text{①} - \text{②} - \text{③} \\
 &= 4.717 - (0.477 + 0.086) - 1.096 \\
 &= 3.058 \\
 &\approx 3.06 \\
 \\ 
 \text{① 錘測基点高 (資料 3)} \\
 \text{② 錘測基点と気象BMの高低差 (資料 4)} \\
 \text{③ 観測基準面上のIL}
 \end{aligned}$$

注) 資料番号は海上保安部基準面決定簿添付資料番号、別途巻末資料に収録。

### 6. 最低水面一覧表記載値 (3.17m：平成 29 年 1 月採用) との比較

$$\begin{aligned}
 \text{一覧表記載値} - \text{今回算出した最低水面} &= 3.17 - 3.06 = 0.11\text{m} \\
 \\ 
 &\text{最低水面の点検結果と一覧表記載値との差は}0.11\text{m}\text{と}0.10\text{m}\text{以上となったため、} \\
 &\text{最低水面は今回求めた「気象庁験潮所BM頂下}3.06\text{m}\text{を採用することとする。}
 \end{aligned}$$

### 7. 観測基準面上の最低水面決定

$$\begin{aligned}
 \text{最低水面} &= \text{①} - \text{②} - \text{③} \\
 &= 4.717 - (0.477 + 0.086) - 3.06 \\
 &= 1.094 \\
 &\approx 1.09 \\
 \\ 
 \text{① 錘測基点高 (資料 3)} \\
 \text{② 錘測基点と気象BMの高低差 (資料 4)} \\
 \text{③ 今回求めた気象BM頂下の最低水面}
 \end{aligned}$$

## 8. 観測基準面上の最低水面の決定

以上のとおり、本調査で求めた観測基準面上の最低水面は、1.09mとなった。

補足：4. ～7. の手順は、海上保安部基準面決定簿の様式による手順であり、決定高の桁合わせによる決定高の再計算である。本基準面決定簿は、海上保安部の基準面決定簿記載様式に準拠する。

## 9. 潮位関係図

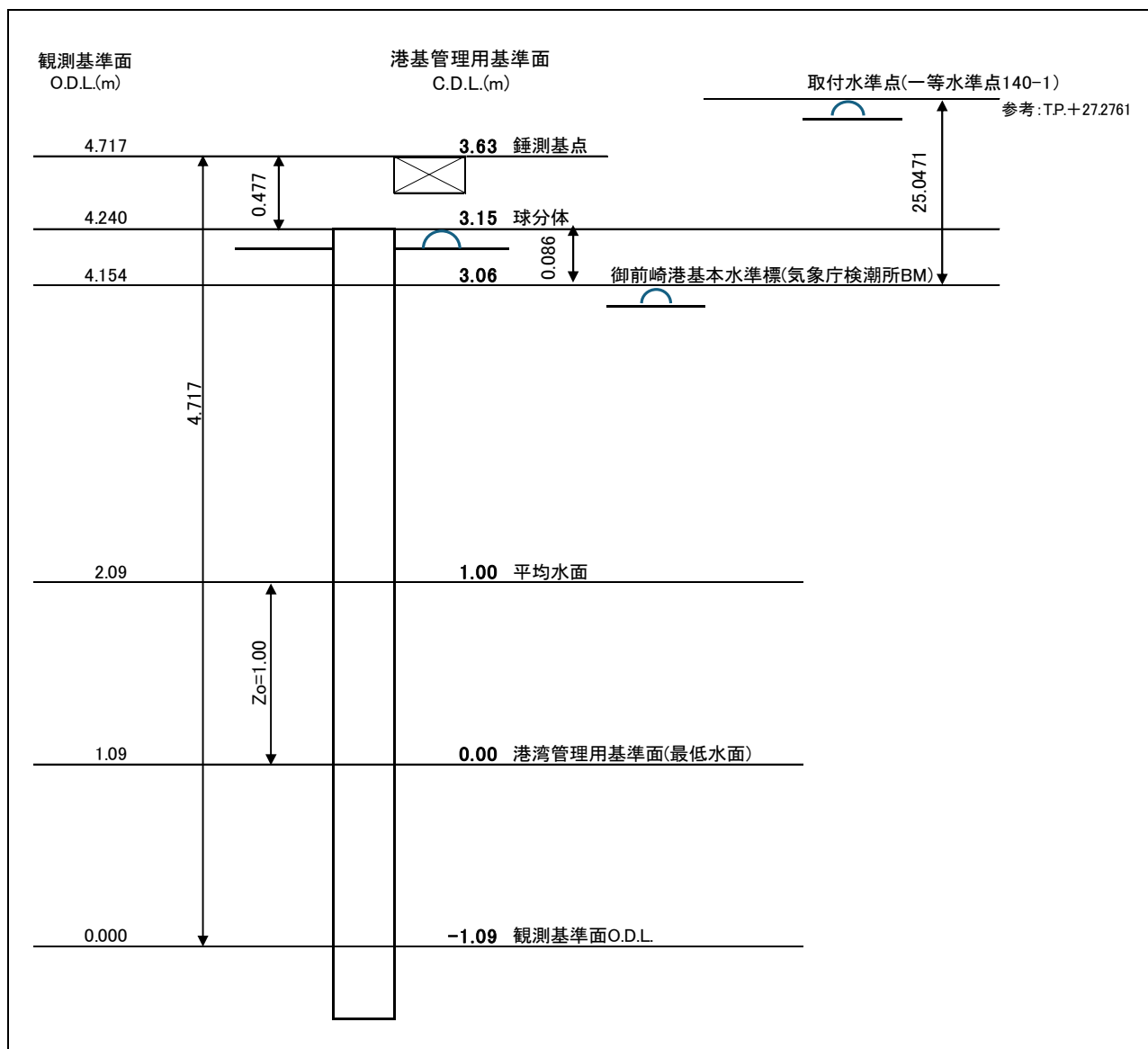
海上保安部基準面決定簿は、別途巻末資料添付の各資料により以下のとおり示している。

	0ofg 上		IL 上
錘測基点	4.717		3.63
		0.477*	
球分体	4.240		3.15
		0.086*	
気象 BM	4.154		3.06
平均水面 (MSL)	2.09	4.240*3	4.717*2
		Z <sub>0</sub> =1.00	
最低水面 (IL)	1.09		0.00
観測基準面 (0ofg)	0.00		-1.09
(単位：m)			
1. Z <sub>0</sub> は平均水面、最高水面及び最低水面一覧表による。 2. *は本調査で実施した水準測量 (R5.11.28) による。 3. *2 気象庁検潮儀 (電波式) 点検カードによる。 4. *3 気象庁球分体と観測基準面の関係資料による。			

本基準面決定簿では、別途示す港湾台帳の掲載様式の潮位関係図、港湾管理用基準面変更報告書への記載事項等の必要があるため、上記海上保安部の潮位関係図を参照して以下のとおり御前崎港の潮位関係図を整理する。

なお、上記海上保安部潮位関係図との整合を図るため、気象庁における御前崎検潮所基準面図(潮位関係図)は海上保安部の採用した錘測基点、球分体の観測基準面上の高さと合致する 2023 年 1 月 1 日から使用の図を参考する。気象庁 BM (気象標石) の高さについては、上記海上保安部の測量結果による値を採用した。

御前崎港港湾管理用基準面の潮位関係図を以下のとおり整理する。



御前崎港

別表

潮位名称					潮位					
基	本	水	準	標	HBM	+	3.06			
既	往	最	高	潮	位	H.H.W.L.	+	2.65		
朔	望	平	均	満	潮	位	H.W.L.	+	1.72	
平	均	水	面		M.S.L.	+	1.00			
東	京	湾	平	均	海	面	T.P.	+	0.83	
平	均	干	潮	面	M.L.W.L.	+	0.52			
朔	望	平	均	干	潮	位	L.W.L.	+	0.03	
港	湾	管	理	用	基	準	面	C.D.L.	±	0.00
観	測	基	準	面	O.D.L.	-	1.09			

工事用潮位

朔望平均満潮位

(H. W. L.)

東京湾平均海面

(T. P. )

平均干潮面

(M. L. W. L. )

朔望平均干潮位

(L. W. L. )

港湾管理用基準面

±0.00

(C. D. L. )



水陸境界